

富山県

中央植物園だより



サクラ ‘多賀紅’ *Prunus* ‘Tagabeni’ (バラ科)

熱海市下多賀で見つけられたもので、地名に因んで命名されました。「カラミザクラ」との交雑種と考えられています。「啓翁桜」の奈で流通する‘東海桜’にやや似ますが、花は大きく濃色です。

植物写真展 「さくらパトロール」 撮影 / 吉田ゆきさん

世界一高価なスパイス !? なんの花？



答え：サフラン

秋にクロッカスに似た花を咲かせるアヤメ科の植物で、先が3つに分かれたある赤いめしべをスパイスとして利用します。1gのサフランを集めるのには160個ほどの花が必要となり、収穫の手間も相まって世界一高価なスパイスといわれています。めしべには独特の香りと水溶性のカロテノイドの一種、クロシンが含まれており、ブイヤベースやパエリアなど世界中の料理の香りと色付けに使われます。

Reports イベント報告

第 19 回秋のラン展

本展は毎年、カンランの開花時期に合わせて開催しています。カンランは本州の紀伊半島から四国、九州、琉球列島に分布している日本原産のランです。大きいものでは草丈1 mほどにもなり、日本産のランの中では大型です。現在では乱獲や環境の変化により、自生する様子を見ることが困難なランのひとつです。また、産地により紀州寒蘭、土佐寒蘭、薩摩寒蘭などと呼ばれ、各産地には



凛とした姿が魅力のカンラン

それぞれ愛好家の会があり、熱心に栽培され、展示会が行われています。

会場には富山県蘭協会の会員が丹精込めて栽培したカンランをはじめと
パンダやカトレヤなどのさまざまな洋ランも
する東洋ランのほか、カトレヤなどの洋ランなど約 180 点が
出品され、訪れた人たちは様々な色や形の花を楽しんでいま
した。今年は3日もとも天気に恵まれ、会期中は 2,000 人を超
える来園者がありました。



(西村幸芳)

ウィンターフェス in 植物園

当園の一年を締めくく一大イベント「ウィンターフェス in 中央植物園」は、3日間で 2,500 人近い来園者があり大変な賑わいでした。土日にはマルシェも開催され、旬の野菜や果物、



お気に入りの一品を求めて

手作り雑貨などのお店が並び、お客さんはお店の人との会話も楽しみながら買い物をしていました。毎年、植物園ならではの植物を使ったさまざまなワークショップも実施するのですが、今年は大人

だけでなく子どもも楽しめるようなメニューを用意。狙い通り、たくさんの子どもたちが参加してくれました。真剣に取り組み、出来上がったときの嬉しそうな顔を見てい



ハサミで上手に枝をチョキチョキ

ると、自分の手で何かを作る楽しさは健在なんだと温かい気持ちになりました。各担当者は何か月も前から材料を調達したり、手順を試行錯誤して準備をしてきましたが、お客さんの楽しそうな様子に苦労も報われました。

(西村幸芳)

Topic 植物園裏話

熱帯雨林温室の池の水、全部抜く

熱帯雨林植物室には約 54 m²の池があります。サゴヤシや熱帯スイレン、ティフォノドラム・リンドレイアヌムなどを展示しているのですが、外来種のトリゲモの仲間 (*Najas guadalupensis* (Spreng.) Magnus) やウキクサが繁茂するようになってしまいました。これでは見た目にも植物の栽培管理



池の底。泥が溜まっています

上も不都合なので、池の水を全部抜き、徹底的に清掃して除去することにしました。

水を抜いていると1年ほど姿を見なかった2匹のアロワナが少し成長して現れたので、2匹のプ

レコと併せて大きな漁網と手づかみで捕獲しまし

た。繁茂したトリゲモの仲間やウキクサはサゴヤシの根や池の壁などにまとわりついて
いいサイズの美味しそうなモクズガニ
います。サゴヤシの根は周囲を切り取って捨てつつ子株のバックアップをとり、熱帯スイレンは塊茎だけを取り出して植え替えです。また、池の縁で成長し過ぎたアダンの、水中に伸びた気根にも水草が絡んでいたため伐採・撤去しました。



いいサイズの美味しそうなモクズガニ

池の大部分を水で洗い流しながら清掃していると、なぜか美味しそうなモクズガニも出現 (写真)。休園日に2週に渡っての作業では、延べ12人のうち2人が滑って転んで泥だらけになりました。最後に魚たちを池に戻して完了です。

(志内利明)

News 園内ニュース

デッキの改修工事が始まりました

サンライトホールの南東側にあるウッドデッキは、ホールから屋外展示園に抜ける通路としてだけでなく、北池の野鳥を観察したり、水面に映る桜並木を眺めたり、コンサートを開催したりとさまざまに利用されてきました。ところが、10年ほど前から床板の劣化が目立つようになり、部分的な補修を繰り返してきました。昨年からは、床を支える根太の腐朽が進み危険な状態になったため、一部を除き立ち入り禁止としましたが、このほど、県の予算措置が講じられ、10月下旬から全面的改修工事が始まりました。写真は、古い材が取り外された11月中旬の状況です。根太を支えていた鋼

材が想定以上に劣化していることが判明し、補強が必要なため工期が伸びそうですが、2月中には改修工事が完了する見込みです。

なお、工事期間中はサンライトホールから屋外展示園に通じ抜けることができません。屋外を散策される方は、入園口から左または右の園路にお進みください。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。(高橋一臣)



新しくなったデッキをお楽しみに！

Events 注目イベント

第13回「クリスマスローズ展」 2月21日(土)～2月23日(月・祝)

「クリスマス」と名前についているのに、クリスマスローズの多くは早春2～3月に咲きます。では、この花と「クリスマス」にはどのような関わりがあるのでしょうか？



純白の花のヘレボルス・ニゲル

今年度のクリスマスローズ展では、「西洋のクリスマス文化とクリスマスローズ」をテーマに、特別展示を行います。謎解きをお楽しみに。

例年通り、色とりどりの園芸品種の展示や苗販売、栽培講習会もありますので、皆様ぜひお越しください。

(和久井彬実)

第22回「雪割草富山県大会」 3月13日(金)～3月15日(日)

早春の林の下で雪が解けるとすぐに花を咲かせる雪割草、北陸地方にはオオミスミソウやミスミソウが分布します。特にオオミスミソウでは野生の花の色が白、ピンクなどと多様なことから交配が行われ、様々な花色、花形の園芸品種が作られてきました。

当園では、平成25年度より富山雪割草の会と共催で「雪割草富山県大会」を開催しています。今年の特別展示は「標準花、乙女咲き、珍品」がテーマです。春を告げる可憐な雪割草をどうぞお楽しみください。(吉田めぐみ)



小さくともバラエティ豊かな色や形の花

Note 園内さんぽ

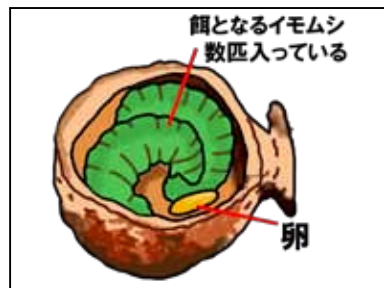
空飛ぶイモムシ

とある日、バックヤードで作業していると、目の前をイモムシが飛んでいきました。あれ？と思って追いかけると、正確にはイモムシを抱えたハチでした。模様からおそらくミカドトックリバチと思われます。名前の由来は泥でとっくりのような巣をつくること



成虫の大きさは2 cm ぐらい

から。親は直径3 cm ぐらいの巣の中に、卵と幼虫の餌となるイモムシを入れます。ふ化した幼虫がいつでも新鮮な餌を食べられるように、イモムシには動けなくなる麻酔がかかっている、まさに生ける屍…。このハチもせっせと巣にいれるイモムシを集めているところだったので、しばらく観察しているとどこかへ飛んでいってしまい、巣の場所は特定できませんでした。残念… (西村幸芳)



とっくりの中はこうなっている！

Event Schedule

※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。
※日程・内容などが変更になる場合がございます。最新情報はHPでご確認ください。

企画展・特別開園

1/9 (金) → 12 (月・祝)	第13回 新春カトレヤ展 会場：サンライトホール
1/16 (金) → 2/18 (水)	第28回 私の植物写真展 会場：サンライトホール
1/23 (金) → 2/18 (水)	令和7年度 植物園研究発表会 会場：サンライトホール
2/21 (土) → 23 (月・祝)	第13回 クリスマスローズ展 会場：サンライトホール
3/6 (金) → 8 (日)	第54回 富山県蘭まつり大会 会場：サンライトホール
3/13 (金) → 15 (日)	第22回 雪割草富山県大会 会場：サンライトホール
3/20 (金) → 4/29 (水)	企画展 「中央植物園に咲くサクラⅡ (仮)」 会場：サンライトホール
3/20 (金) → 4/12 (日)	お花見フェア 会場：サンライトホールほか

月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園
第3日曜日（4月は第4日曜日）：園長と歩く植物園
13:30～14:00 集合場所：サンライトホール

講演会・講習会・観察会

1/25 (日)	令和7年度 植物園研究発表会 会場：サンライトホール 13:00～16:00
2/21 (土)・22 (日)	栽培講習会 「クリスマスローズの栽培と管理」 会場：ドリアスホール 14:00～15:30
3/7 (土)・8 (日)	栽培講習会「ランの栽培と管理」 会場：ドリアスホール 10:30～12:00・14:00～15:30
3/14 (土)・15 (日)	栽培講習会「雪割草の栽培と管理」 会場：ドリアスホール 14:00～15:30

その他

12/20 (土)	散らない桜カードの配布 会場：サンライトホール 9:00～（先着200名） カードは無料ですが、入園料（大人420円、高校生以下無料）が必要です。 数に限りがあるため、1回の入園につき1枚とさせていただきます。もう1枚入手したい方は、一旦退園し、再入園（当日限り無料）して下さい。
-----------	--

入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00（入園は16:30まで）
11月～1月 9:00～16:30（入園は16:00まで）
[休園日] 毎週木曜日
4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始（12月28日～1月4日）
[入園料] 大人630円 / 団体（20名以上）500円
冬期（12月～2月）一 大人420円 / 団体340円
年間パスポート（購入日より1年間有効）2,600円
高校生以下・70歳以上は通年無料
[交通案内]
バス：富山地鉄バス JR富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」
または「ファボーレ経由速星行き（休日のみ）」に乗りし、
「中央植物園口」下車、徒歩約12分（約700m）
車：富山市中心部より約15分
北陸自動車道富山ICより約15分
JR速星駅より約8分

団体向け学習プログラム

学校の遠足やPTA活動等でご利用の方向けに、植物園ならではの学習プログラムを提供しています。ご希望日の1週間前までに、学習プログラム申請書をご提出下さい（FAX可）。人数や時間、ご希望のコースについてはご相談ください。※1団体につき1つのプログラムに限らせて頂きます。

- ① ウォークラリー「植物を探せ！」
写真と地図をヒントに、園内で植物を探すゲームです。
・対象：年長～小学生
・所要時間：30分～1時間半（コースによって異なります）
- ② どんぐり工作
どんぐりや木の実、葉を材料に工作を楽しめます。
・対象：年長～小学生
・所要時間：2時間
- ③ ドリアス講座
植物の面白さをスライドでわかりやすく解説します。
・対象：年長～一般（複数講座からお選び頂けます）
・所要時間：30分程度（講座によって異なります）

富山県中央植物園だより No.118

令和7(2025)年12月25日発行
編集・発行／富山県中央植物園
（指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行）
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



公式 HP



公式 Instagram



植物多様性
保全拠点園



JAPAN
MUSEUM
自然博物館